佐賀大学 SAGA UNIVERSITY
理工学部 FACULTY OF SCIENCE AND ENGINEERING

2026 年 10 月 22 日

都市工学部門の三島悠一郎准教授が九州大学ブラウンバッグセミナーで話題提供

【概要】

2026 年 7 月 8 日（水）に，都市工学部門の三島悠一郎准教授が九州大学のブラウンバッグセミナーにてオンライン講演を行いました。佐賀低平地の水管理システムやインドネシアにおける研究活動について紹介しました。講演内容は九州大学のウェブサイトに掲載されています。

【本文】

2026 年 7 月 8 日（水）12 時 10 分～12 時 50 分に，九州大学アジア・オセアニア研究教育機構（Q-AOS）が主催する第 238 回ブラウンバッグセミナーにおいて，理工学部都市工学部門の三島悠一郎准教授がオンラインで話題提供を行いました。

本セミナーでは，「持続可能な低平地をめざして―簡易水位計を活用した佐賀とインドネシアにおける水循環の可視化―」と題して，佐賀低平地の水管理システムや，インドネシア・南カリマンタンを対象とした国際共同研究について紹介しました。

佐賀低平地では，地域特有の水路網であるクリークの役割や水管理について，TSUNAGI プロジェクトの支援を受けた研究成果を紹介しました。また，インドネシア・南カリマンタンでは，科学研究費助成事業（科研費　基盤 C：24K07732）の支援を受けて実施している国際共同研究について紹介し，簡易水位計を活用した水環境の観測や，持続可能な水管理に向けた取り組みを説明しました。

講演後の質疑応答では，参加者との間で活発な意見交換が行われ，低平地の水環境や水管理に関する議論が深められました。

今回の講演は，佐賀低平地で培われた水管理の知見や国際共同研究の成果を広く発信する機会となりました。今後も国内外の研究機関との連携を通じて，持続可能な低平地の実現に向けた研究を推進していきます。

なお，講演の概要や資料は九州大学 Q-AOS のウェブサイトで公開されており，講演動画も YouTube にて近日公開される予定です。

【関連リンク】

九州大学アジア・オセアニア研究教育機構（Q-AOS）
第 238 回ブラウンバッグセミナー
https://q-aos.kyushu-u.ac.jp/events/events_view.php?cId=2792



講演概要が掲載されたフライヤー